

令和3年度

自動車関連企業開発人材育成塾

自動車業界は、EVシフトの急速な進展や、新型コロナウイルス感染症による経済の停滞といった変化に晒されています。こうした状況の中、県内企業においては、新たな技術、製品等をメーカーに提案するために技術力・開発力を高める必要があります。

そこで、本研修ではトヨタ自動車の開発手法等を学び、新技術・製品等の開発企画ができる人材を育成します。塾形式の計画的なカリキュラムの中で、各自テーマを設定し、開発企画の演習にも挑戦する実践的な学びの場です。



定員：10名程度

受講料：6,600円(税込)/1名

※別途、実費負担有

申込〆切：令和3年8月17日(火)17:00

申込方法：別紙の参加申込書による

■対象者：県内の自動車産業に従事する中堅社員(入社5～10年目程度)

※原則、全ての研修にご参加いただきます。

全日程

	テーマ	日程	場所
座学研修	第1回	現状把握と新製品開発プロセス 令和3年8月24日(火) 9:00～16:00	ピュアリティ まきび
	第2回	自工程完結活動と図面完成度の向上 9月15日(水) 9:00～16:00	
	第3回	中間報告 11月16日(火) 9:00～16:00	
	第4回	問題解決のステップ 12月15日(水) 9:00～16:00	
	第5回	新商品・製品企画 令和4年1月12日(水) 9:00～16:00	
	第6回	成果報告会 3月9日(水) 9:00～16:00	
実地研修	第1回	自動車部品材料の化学分析 令和3年9月22日(水)	(株)堀場テクノサービス (京都府)
	第2回	試験設備見学・安全体感装置体験 10月12日(火)	エスペック(株)/ アジアクリエイト(株) (愛知県)
	第3回	自動車部品のCTスキャナーによる内部観察 12月1日(水)・2日(木)	(株)島津製作所 (京都府)
	第4回	形状計測の基礎と測定実習 令和4年2月24日(木)	テクノサポート岡山 岡山県工業技術センター

※実地研修の日程については、変更になる可能性があります。

主催：岡山県 委託先：公益財団法人岡山県産業振興財団

座学研修

第1回 現状把握と新製品開発プロセス

令和3年8月24日(火)

～自社技術の強み、弱みを整理するとともに、開発企画の基本的なプロセスを学ぶ。～

1. 各社の現状把握(自社技術のたな卸しシート作成)
2. 新製品開発プロセス
3. CE(チーフエンジニア)制度(大部屋活動)
4. ワークショップ:KPTによる技術課題抽出と各社取り組みテーマ設定(A3プロセス思考)

第2回 自工程完結活動と図面完成度の向上

9月15日(水)

～実例を踏まえた技術動向の学習と、開発品質向上における手法を学ぶ。～

1. 自工程完結活動
2. 図面完成度向上の取り組み
3. トヨタの技術革新の実例
4. ワークショップ:TLSC(トータル・リンク・システム・チャート)作成

第3回 中間報告

11月16日(火)

～受講企業各社の設定した模擬開発企画の進捗状況の報告及び討議を行う。～

1. 各受講者進捗状況報告
2. 討議
3. 講評

第4回 問題解決のステップ

12月15日(水)

～開発企画を行うための問題解決方法を学ぶ。～

1. 原価企画
2. 設計の日常管理
3. 標準化
4. 問題解決のステップ(トヨタ流A3シート)
5. 人材育成
6. ライフサイクルアセスメント
7. ワークショップ:開発リードタイム短縮活動

第5回 新商品・製品企画

令和4年1月12日(水)

～新商品・製品企画のステップ、手順、取り組み方法などを学ぶ。～

1. お客様満足度「品質とは」と「品質管理」
2. 売れる商品企画
3. ワークショップ:商品企画の取り組み方

第6回 成果報告会

3月9日(水)

～模擬開発企画について受講者による報告及び討議を行う。～

1. 各受講者企画報告
2. 討議
3. 全体講評

実地研修

第1回 自動車部品材料の化学分析

令和3年9月22日(水)

～自動車部品に使用されている金属や樹脂などを科学的にデータ化する手法を学ぶ。～

見学先 株式会社堀場テクノサービス*1 京都本社（京都府京都市南区吉祥院宮ノ東町2）

内容 アナリティカルソリューションプラザの見学、化学分析のデモ、校正トレーサビリティのセミナー

*1 株式会社堀場テクノサービス（株式会社堀場製作所のグループ会社で、製品メンテナンスや受託試験などのサービス事業を担う。）



第2回 試験設備見学・安全体感装置体験

10月12日(火)

～近年の自動車業界において活用されている最新の試験設備及び、製造現場で発生する災害の未然防止に必要な知識を学ぶ。～

1 見学先 エスペック株式会社*2 豊田試験所 託験営業部（愛知県豊田市聖心町3-44-1）

内容 会社紹介、大型設備・恒温槽、特殊設備見学、質疑応答

2 見学先 アジアクリエイト株式会社*3（愛知県豊川市蔵子7丁目11-15）

内容 安全体感研修（Vベルト巻き込まれ、回転体巻き込まれ、感電・過電流・トラッキング、滑り・転倒、高圧力（水圧）
実演説明、KYトレーニング

*2 エスペック(株) 環境試験機のメーカーで、製造、販売、試験受託等を行う企業。

*3 アジアクリエイト(株) 産業用自動化装置の設計・製作事業と「安全体感研修センター」を運営。労働災害削減を目的とした「安全体感装置」を設計から製造、販売を一貫して行っており、自社内に研修センターを設置している。



第3回 自動車部品のCTスキャナーによる内部観察

12月1日(水)・2日(木)

～部品内部に潜む品質不良などを判定するための手法と、製品品質の向上技術を学ぶ。～

見学先 株式会社島津製作所*4（京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地）

内容 会社紹介、X線CTの原理、測定体験、見学

*4 株式会社島津製作所 「人の健康」「安心・安全な社会」「産業の発展」の事業領域で、分析機器、計測機器、医用機器、産業機器を取り扱っている。最先端の分析技術で、研究開発・品質管理に貢献し、また精度の高い試験計測技術で産業分野のモノづくりを製品検査や品質管理の面からサポートを行っている。



第4回 形状計測の基礎と測定実習

令和4年2月24日(木)

～ものづくりの基本になる物体の形状計測の基礎と評価方法などを学ぶ。～

見学先 岡山県工業技術センター（岡山市北区芳賀5301）

内容 工業技術センターの紹介と活用方法、形状計測の基礎、測定実習



■座学研修講師

豊田エンジニアリング株式会社

なか むら きみ かず
上級コンサルタント **中村 公一** 氏

■略歴

1973年 トヨタ自動車(株) 入社
1973年 ボディー設計部 ボディー設計開発
1987年 台湾 国端汽車
1991年 ボディー設計部 ボディー設計開発
1994年 海外技術部
1998年 台湾 国端汽車
2000年 製品企画部
2003年 設計管理部
2006年 トヨタ自動車(株) 退職
2006年 林テレンプへ転籍
2006年 中国 広州林駿(合併会社) 社長
2010年 林テレンプに帰任
2015年 豊田エンジニアリング(株)入社
現在に至る

ボディー設計開発、部品の国産化業務等に従事し、原価企画、仕入先指導と品質の確保、設計開発マネジメントを得意としています。



豊田エンジニアリング株式会社

まつ した ひで ゆき
上級コンサルタント **松下 秀行** 氏

■略歴

1971年 トヨタ自動車(株) 入社
1971年 第1技術部 シャシー設計課
1975年 製品企画室 ZMS
1979年 第1技術部 車両設計課
1982年 第1技術部 第1車両設計課
1986年 シャシー設計部(名称変更)
1992年 第2シャシー設計部
1997年 第3シャシー設計部 部付
2003年 第1シャシー設計部 品質監査室
2008年 第1シャシー設計部 部付 グループ長
2009年 出向 四川一汽豊田汽車有限公司 部長
2016年 第1シャシー設計部 CVシャシー設計室
2016年 CVCシャシー設計部 第1シャシー設計室
2017年 トヨタ自動車(株) 退職
2017年 豊田エンジニアリング(株)入社
現在に至る

トヨタ自動車(株)在席中は、シャシー設計業務に従事し、世界屈指の技術力を有するトヨタ自動車(株)の開発手法を熟知しています。



注意事項

- (1) 原則、全ての研修に参加する者に限ります。
- (2) 実地研修については、日程など変更となる可能性があります。
詳細スケジュールにつきましては、申込者へ別途ご連絡をいたします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催方法が変更になる場合がございます。
- (4) 実地研修は、原則現地集合・解散となりますので、実費が発生いたします。
- (5) 別途案内している令和3年度EV構造研究活動への参加を推奨いたします。

問合せ先 〒701-1221 岡山市北区芳賀5301 テクノサポート岡山3階

公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課 担当:高橋、原本、勝野

TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676

E-Mail jidousya@optic.or.jp